

第1回定期観察会（野崎の春を探そう！）

日時：2023年（令和5年）4月28日（金）晴れ

集合時間・場所：JR野崎駅 10:00 集合

参加者：21名（欠席3名） 講師：田代貢氏

行程：JR野崎駅⇒専応寺⇒慈眼寺（野崎観音）⇒堂山古墳群⇒歴史民族資料館 15:10 解散

作成者：石川正樹

堂山古墳近辺 講師を囲んで



JR 野崎駅 開会の挨拶 10:00



まずはアヤメから



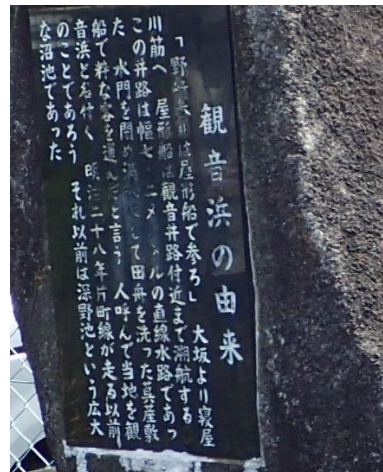
アヤメの網目模様：蜜標（虫に蜜のありかを知らせる）



ヒラドツツジの赤い模様：蜜標



観音浜の由来



ドウダンツツジの花はハナバチ以外の者を排除する方向に進化



ナガミヒナゲシ



蒴果 熟すると種が飛び散る



慈眼寺 (野崎観音)



ヤブガラシ 葉とつるの出かた



クマバチと格闘



ギンヨウアカシア

葉っぱは軸に対し水平に出る。複葉も同じ



フィボナッチ数列

どの数字も前の2つの足した数字

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13 ...

自然の中に、この数列は潜んでいるようです。

○花びらの枚数

○葉の配列（葉序、開度）

$1/2$ $1/3$ $2/5$ $3/8$ $5/13$

危ない！先生だいじょうぶですか！



本日入科！

ようこそインタープリテーション科へ

新入科員歓迎 鋤園肇さん 科員は24名へ

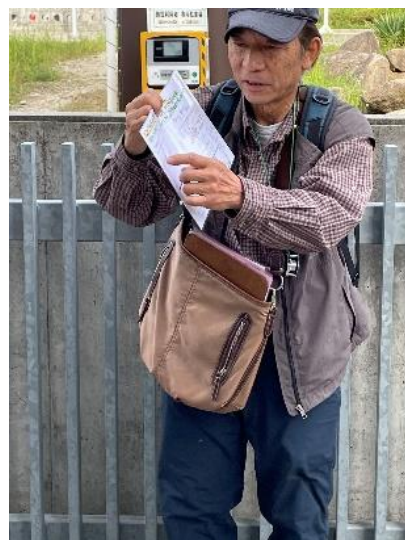


ヤエムグラの葉は何枚？



オオバヤシャブシ 花・果実の付き方





元の図形 切りとらせた
長方形

$$\frac{1}{\text{たて}} : \frac{x}{\text{よこ}} = \frac{(x-1)}{\text{たて}} : \frac{1}{\text{よこ}}$$

$$x(x-1) = 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

x の値を 解の公式
から求める。

$$x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2} \dots \text{二乗した } 5 \text{ になる } \text{無理数}$$

$$\div 1.618 \dots$$

切りとった正方形の残りの
長方形の たて、横比率は
最初の図形と同じ

黄金比

黄金比 ①: $\frac{1+\sqrt{5}}{2} = 1.618 \dots$

※ $a : b = b : (a+b)$

※ a の長さの正方形を
切りとると残りの図形の
比率は再び 同じになる

幾何的には、 $a : b$ が黄金比ならば、
 $a : b = b : (a+b)$

という等式が成り立つことから、縦横比
が黄金比の矩形から最大正方形を切り落
とした残りの矩形は、やはり黄金比の矩
形となり、もとの矩形の相似になるとい
う性質がある。正五角形の1辺と対角線
との比は黄金比に等しい。

黄金比で長さなどを分けることを黄
金比分割または黄金分割 (英: golden
section 対 golden cut)

白銀比 ②: $\sqrt{2} = 1.414 \dots$

※ $a : b = b : \sqrt{2}a$

ジャック=ルイ・ダヴィッドの『レカミエ
像』(1800年)。横図が安定して見える
は、夫人の横たわる姿が黄金比の長方形
収まるように構成されているから

スタイリッシュな黄金比

白銀比

白銀比の方が全体的に小ぶりであ
わいらしく、親しみやすい印象です。

歴史民俗資料館前で解散
お疲れさまでした。